

象 成

大宮北小学校だより
令和5年度 3月号
文責 校長 平野 宗



QRコードから学校HPをご覧ください。

学校だよりの題字は、明治6年に本校の前身として開校された「象成（しょうせい）学舎」の名にちなんでいます。



【保護者と一緒に学習】

2月7日（水）の授業参観・懇談会では、多くの保護者の皆様に参観いただき、ありがとうございました。学習の様子を通して、お子様の成長した姿をご覧いただけたかと思います。

3月を迎え、どの学年も卒業・修了に向けて学年のまとめに入りました。子どもたち一人一人が、個性を發揮し、いきいきと学習や生活に取り組めるよう、全教職員で取り組んでまいります。



心の豊かな子の育成～感謝の心を伝え合う～

<6年生を送る会～わくわくチームでの心の交流～>

2/22（木）に、異学年集団である「わくわくチーム」による6年生を送る会を行いました。お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えるために、5年生が中心となって、計画や準備をしてくれました。

子どもたちは、チームごとに仲良くゲームを楽しみました。最後に、6年生へ心のこもった手作りのプレゼントを贈ることで、感謝を伝え合いました。



【箱の中身を当てるゲーム】



【6年生を楽しませよう】



【心のこもったプレゼント】

<学びや生活を支えてくださっている方々への感謝>

給食委員会が呼びかけて、給食週間に子どもたちから集めた感謝の手紙を、調理員さんに贈りました。

また、計画委員会の子どもたちが中心になって全校児童で作成したプレゼントをボランティアさんに贈りました。



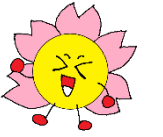
【調理員さんへ】



【ボランティアさんへ】



元気いっぱい 夢いっぱい 仲良しいっぱいの大宮北小



目標に向けて力を合わせた長なわ大会

運動委員会による長なわ大会を行いました。各学級では、体育や休み時間などを利用して練習に取り組みました。

大会は、回数を競い合うのではなく、自分たちの目標に向かって協力する心を育むことを目標にしています。

本番では、やり遂げた喜びや悔しさを分かち合う子どもたちの姿が見られました。



みんなが笑顔になった「あいさつ週間」



計画委員会が企画して、休み時間やお昼休みに先生方にあいさつをする「あいさつ週間」を行いました。

相手の目を見て、気持ちのよいあいさつをすることを大切に、できた子どもには先生からカードにサインがもらえました。

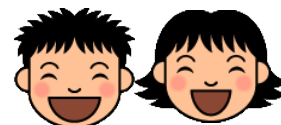
あいさつの言葉を交わす子どもたちと先生が、ともに笑顔になれる素敵な一週間でした。

ようこそ大宮北小へ ～園児のみなさんの学校見学

おおみや幼児教育センターとひらかわ幼稚園の年長さんが、小学校の様子を知るために訪問してくださいました。

授業の様子やいろいろな教室を見たり小学校での生活について説明を聞いたりしました。

4月の入学を楽しみにお待ちしております。



伝えたい想い
たくさん話そう

東陽中学校区の小中学校では、毎月14日を「トーヨーの日」として、家庭内のコミュニケーションをより深めていくための「家ぞく団らんの日」としています。

ボランティア活用による教育活動の充実

本校では、学校・地域・家庭が一体となった「地域とともにある学校」を推進しています。

特に、多様な他者と協働する体験活動は、子どもたちにとってかけがえのない経験になると考え、とちぎ未来アシストネットによる様々な場面でのボランティア活用を図っています。

今回は、2月の取組を中心に、ボランティア活用の様子を紹介いたします。

き・ず・な・む・す・ぶ



😊 学びへの関心を高める「読み聞かせボランティア」

毎年、図書担当からボランティア募集を行い、数多くの方々にご協力を得ています。今年度は、6月から2月までに、年11回実施することができました。

ボランティアさんからいただいた感想のうち、いくつかを紹介させていただきます。



- 読んでいるとリアクションが多くあり、楽しんでいる様子が伝わってきました。
- 本の中に一緒に入って、大きな声で登場人物を応援してくれました。
- 読んだ後に感想と質問を聞くと、きちんと答えてくれて感激しました。

😊 学びの安心を高める学習支援ボランティア

各学年からの依頼を受けて、地域コーディネーターの方々、ボランティアさんを集めてくださっています。子どもたちは、ボランティアさんの声掛けで安心して活動に集中できました。



【カッターナイフ支援】

【そろばんの使い方支援】

【ミシン操作支援】

また、指導している先生にとっても、ボランティアさんは安心につながりました。先生の声を紹介します。

- 使用する前にカッターナイフの安全な使い方を指導しましたが、実際に使う場面になると、全員に目を配ることが難しいため、ボランティアさんに声を掛けていただけて大変助かりました。
- そろばんの扱い方の説明は、一度聞いても理解が難しいので、ボランティアさんが説明の内容を丁寧に伝えてくださり安心できていました。
- 予期せぬ下糸の巻き直しやミシンの修理などに対応していただけたので、子どもたち全体の様子を把握しながら授業を進めることができました。

😊 社会とつながるボランティアさんとの出会い

4年生では、社会福祉協議会の協力を得て、様々な体験を実施できました。2月には介護ベッドの会社の方のお話を聴くことができました。

6年生では、キャリア教育の一環として、ロボット開発者、エンジニア、カメラマン、アナウンサー、市役所職員など、様々な職業についての講話を聴き、仕事についての考えを深める経験ができました。



【介護用ベッド体験】



【ネイリストさんの話】



【助産師さんの話】

😊 子どもたちによるボランティア活動

地域や保護者によるボランティア活用は、子どもたちが、ボランティア活動を理解し、自ら行動しようとする意欲を高めることにもつながっています。

ボランティア委員会では、1年を通してアルミ缶やエコキャップの回収に取り組んできました。保護者の皆様には、いつもご協力いただきありがとうございました。資源物回収の益金により、新たに回収用コンテナを購入することができました。



【委員会の活動】



【新しいコンテナと一緒に】

これからも、子どもたちが、自分の力を誰かのために役立てる喜びを実感できる体験を大切にしていきます。